

問1 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

- 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
- 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。
- 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
- 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。

問2 北海道の地形的特徴について述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。（2024年 岡山公立入試 類似）

- 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。
- 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。
- 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。
- 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。

問3 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。（2024年 大阪公立入試 類似）

- 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
- 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
- 農業経営体と団体経営の数とともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
- 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある

問4 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。（2025年 青森県公立入試 類似）

- 流氷
- 親潮
- 季節風
- 寒流

問5 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。

（2019年 岡山公立入試 類似）

- 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。
- 日露和親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。
- サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
- 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。

問6 北海道の冬の自然景観として知られる「流氷」は、シベリア沿岸のアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下してくるものです。北海道を北東・南東・西の3つの海域に分けたとき、この流氷が接岸し、砕氷船による観光が行われることで知られる海域の名称を答えなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）

- オホーツク海
- 日本海
- 太平洋
- 東シナ海

問7 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。
- 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。
- 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。
- 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。

問8 冬の北海道において、流氷が地域の産業や生活に与えている側面について述べたものとして正しいものはどれですか。（2026年

愛知公立入試 類似）

- 氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。
- 海面が氷で覆われることで魚の回遊が促進されるため、冬の時期にオホーツク海での大規模な漁船漁業が最も盛んになる。
- 流氷に含まれる豊富な塩分を精製して塩を作る工場が沿岸部に多く建設され、冬の主要な地場産業となっている。
- 氷の重みを利用して港の海底を深く削り取る天然の浚渫（しゅんせつ）効果があるため、大型船の入港を助けている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴に変わることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。
問2	<b>答え 1</b> 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。	日高山脈は石狩低地帯の東側に位置しており、北海道を東西に分ける大きな壁のような役割を果たしています。他の選択肢に含まれる山脈は、いずれも本州に位置するものです。奥羽山脈は東北地方、飛騨山脈（北アルプス）や赤石山脈（南アルプス）は中部地方の山脈であり、北海道の地形説明としては誤りです。
問3	<b>答え 1</b> 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ	二〇〇五年から二〇二〇年にかけて、農業経営体数は五百四十七から三百四十九へと減少していますが、団体経営は三十五から四十三へと増加し、その割合は約十二パーセントに達しています。全体の耕地面積に大きな変化がない中で経営体数が減っている事実は、一経営体あたりの規模が拡大し、農業経営が特定の経営体に集約・大規模化されていることを裏付けています。
問4	<b>答え 1</b> 流氷	冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。
問5	<b>答え 1</b> 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	1855年の日露和親条約において、国後島を含む北方四島は日本の領土として確認されました。それ以降、一度も外国の領土となることがない「日本固有の領土」ですが、1945年の終戦直後に当時のソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、サンフランシスコ平和条約で放棄した「千島列島」には北方四島は含まれないという立場をとっており、ロシアに対して一括返還を求めています。
問6	<b>答え 1</b> オホーツク海	冬の北海道の北東部に位置するオホーツク海では、シベリア沿岸から流氷が押し寄せます。これは、アムール川から流れ込む淡水の影響で海水の塩分濃度が下がり、氷ができやすくなるためです。紋別市や網走市などの沿岸都市では、この流氷を砕氷船で見学するツアーが冬の重要な観光資源となっています。これに対し、北海道の西側は日本海、南東側は太平洋に面していますが、地理的条件により流氷は接岸しません。
問7	<b>答え 1</b> 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わされているのが大きな特徴です。
問8	<b>答え 1</b> 氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。	流氷は船舶の航行を妨げたり漁業を一時的に休止させたりする側面もありますが、一方で北海道を象徴する「観光資源」としての価値が高まっています。網走や紋別での砕氷船ツアー、知床での流氷ウォークなどは、冬の北海道観光の大きな柱となっています。